



散歩でご家庭訪問

安永地区は4町内に分かれており、県道熊本高森線から南方を流れる秋津川沿いまでの一帯が、1・2町内です。

静かな住宅地のクネクネと入り組んだ道を歩いていくと、いろんな発見があります。各家の庭に咲く花の種類も違えば、庭木の趣味もそれぞれ。小さな家庭菜園を見つけるたびに、ほほ笑ましい暮らしの営みを思っています。

安永1・2町内公民館の近くにある避難広場では、朝から町内の人た

やすなが

安永1・2町内

雨が降ったり、ジリジリと暑い太陽が照りつけたり…。散歩の楽しみを奪われがちな季節ですが、グッドタイミングを待って、今回は安永1・2町内をぶらりと散歩。



安永2町内区長の江森さん

ちが集まり草刈りに汗を流していました。「月に1度、2つの町内で代わり番に草刈りをするんです。春から夏にかけては草との追いかっこですよ」と言いつつも笑顔を見せるのは、2町内の区長を務める江森勝喜さんです。

草刈りを終えた皆さんは、エアコ



安永2町内に鎮座する「金松神社」。熊本地震で被災しましたが、昨年4月に再建されました。

ンの効いた公民館でしばし休憩。だつてこの暑さですもの、水分補給と体温調節は大事大事。そんなおくつろぎの所にお邪魔し、散歩のネタを探してみたら、いろいろと興味津々なことばかり。そこで皆さんにお願いして急ぎよ、散歩でご家庭訪問とまいります。

プチ農園が生きがい

まずは、ラッキョウや梅干し作りが得意だという、福永裕示さんの後をついていくことに。自宅に着くなり福永さんは、今年漬けたというラッキョウの酢漬けの試食を薦めてくれます。遠慮なくいただく、ほどうい甘味と酸味が染みて実においし



避難広場の草刈りに集まった皆さん。左から北平孝さん、山内さん、江森さん、福永さん、大藪和夫さん

い仕上がりです。

聞けば、このラッキョウは福永さんが栽培したものだそう。それに駐車場の軽トラクの荷台には、収穫したばかりのタマネギやジャガイモがゴロゴロと。自宅から少し離れた場所で野菜作りを楽しんでいるという、そのきっかけを伺いました。「もう何年も前のこと。知り合いのおじさんが『好きに使ってくれてよかけん』と、好意で自分の所有地を貸してくれたんです。雑木林を倒すことから始めて、それから土地をならし畑を耕しました。手間がかかっただけに、この場所での時間が私の日々の生きがいになってます」と福永さんは満足げに畑を眺めます。

この畑は他に共同で管理する人も